



地震による火災に備えて

感震ブレーカーを 設置しましょう!!

地震の後、
電気が火災の原因に
なることを
知っていますか?



地震の揺れを感知して自動的に電気を遮断する「感震ブレーカー」は、
電気に起因する火災の発生を防ぐために有効です。

感震ブレーカーとは?

地震の強い揺れを感知すると、
自動的に電気を遮断する機器です。

揺れを感知!



避難時にブレーカーを
切り忘れてしまっても、
電気が自動で遮断し、
電気に起因する火災の
発生を抑えることが
期待できます。

地震による
電気火災から
大切な命と
住まいを守ります!

自動で
電気を
遮断!

地震火災の多くは、電気が原因です

過去の大規模地震における
火災の原因は、
「電気に起因する火災」が
約6割を占めています。



過去の大規模地震でも、電気が原因の火災が多く発生しています



だから大切! 感震ブレーカーの設置で、地震による電気火災を防ぎましょう!

感震ブレーカーの種類

地震の揺れを感知して、電気を自動で遮断し、通電火災を防ぎます。

①分電盤タイプ(内蔵型)

分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを自動で遮断します。



主幹ブレーカー

- 特徴
- ・電気工事が必要
 - ・分電盤に内蔵されるため、見た目がすっきりしている

②分電盤タイプ(後付型)

分電盤に感震機能を後付けするタイプ。センサーが揺れを感知し、ブレーカーを自動で遮断します。



感震センサー

- 特徴
- ・比較的簡単に設置できる
 - ・分電盤の種類によっては取り付けできない場合がある

③コンセントタイプ

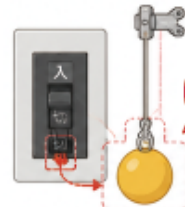
コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、接続している機器の電源を自動で遮断します。



- 特徴
- ・設置が簡単(工事不要)
 - ・特定の機器の電源を遮断
 - ・全ての電気を止めるわけではない

④簡易タイプ(おもり玉式)

重りのついた玉が揺れで落下し、ブレーカーを落とすタイプ。電気工事が不要です。



- 特徴
- ・電気工事が不要で設置しやすい
 - ・揺れの大きさや方向によっては作動しない場合がある
 - ・ブレーカーを手動で戻す必要がある

設置するときの注意点



- 1 夜間に地震が発生すると、
照明も消えて室内が暗くなり、
避難の際に転倒するおそれがあります。

→ 懐中電灯や足元灯など、停電への備えも合わせて行いましょう。



- 2 医療機器など、停電によって
生命や身体に影響が生じる機器を
使用している場合は、
電源の確保について事前に十分な対策を
行う必要があります。

→ かかりつけ医や販売店などに相談し、
非常用電源の準備などを検討しましょう。

「防災の日」をきっかけに、 ご家庭の備えを確認しましょう!

地震は、いつ、どこで発生するか分かりません。

家具の固定



タンスや本棚などを
固定し、転倒を防ぎ
ましょう。

非常持出品・ 備蓄品の準備



飲料水や食料、懐中電灯、
携帯ラジオなど、すぐに
持ち出せるように準備を
しておきましょう。

住宅用火災警報器 の点検



正常に作動するか確認し、
定期的な点検や電池交換
を行いましょう。

感震ブレーカー の設置



地震による電気火災を
防ぐため、感震ブレーカー
の設置を検討しましょう。

地震火災への備えをしっかりと行い、大切な命と住まいを守りましょう!

地震への備えが、大切な命と住まいを守ります。

